

## 執筆者紹介 (掲載順)

- 執筆者 ①職位 (所属)、②専門分野、③主な担当科目、  
④教育・研究業績、地域貢献などの紹介
- 石田 路子 ①教授 (福祉総合学部理学療法学科)  
②地域包括ケア・医療介護連携他  
③福祉医療ケアシステム論、保健医療福祉概論他  
④千葉県障害者施策推進協議会会長、千葉県大網白里市介護保険事業運営協議会会長・他
- 谷内 幸喜 (第一著者) ①教授 (福祉総合学部理学療法学科)  
②神経系疾患に対する理学療法  
③中枢神経系理学療法学 (実習)・運動療法学 (実習)、他  
④教育：大阪河崎リハビリテーション大学教授・学生部長 (平成 25 年 4 月～平成 29 年 3 月)。研究業績：「健常者における身体柔軟性と直立姿勢保持能力に関する研究」保健医療学雑誌 4 巻 (2 号) 41-49, 2013、「脳卒中片麻痺患者における運動量方略優位の立ち上がり動作獲得の検証」大阪河崎リハビリテーション大学紀要 8 巻 (2 号) 85-92, 2014、「体位変換刺激時における脊髄損傷患者の血圧と心拍数変動に関する研究」大阪河崎リハビリテーション大学紀要 9 巻 (2 号) 71-77, 2015、他。
- 林 和歌子 (第一著者) ①准教授 (福祉総合学部福祉総合学科)  
②高齢者福祉、ソーシャルワーク方法論  
③人間関係とコミュニケーション、コミュニケーション技法 I、人間学、ソーシャルワーク演習 II など  
④日本社会福祉学会会員
- 諸角 一記 (第一著者) ①教授 (福祉総合学部理学療法学科)  
②理学療法評価学、高齢者の理学療法、高齢者の介護予防プログラム開発  
③骨・関節系理学療法学、骨・関節系理学療法学実習、理学療法海外研修、他  
④共著書「理学療法のとらえかた Clinical Reasoning Part3」(文光堂)、「膝関節痛予防・軽減のための運動学習支援マニュアル」(サンライフ企画)、「PT 臨床実習ルートマップ」(メジカルビュー社)、「運動療法学改訂第 2 版」(金原出版) その他

- 大内 善広 (第一著者)
- ①助教 (福祉総合学部福祉総合学科)
  - ②教育心理学、教育評価
  - ③心理学、保育の心理学Ⅱ、教育心理学、他
  - ④日本教育心理学会会員。論文「通信簿の評定結果の納得感に及ぼす指導と評価に関する教師の取組みの効果」(教育心理学研究第54巻第4号、2006年、共著：萩原康仁・大内善広)にて城戸奨励賞受賞。
- 井上 敏昭
- ①教授 (福祉総合学部)
  - ②文化人類学・先住民文化研究
  - ③国際福祉論、福祉と文化、幼児文化論、人間関係論など
  - ④日本文化人類学会会員。八街市地域自立支援協議会執行委員 (顧問)。研究業績「グイッチン」綾部恒雄監修 富田虎男, スチュアート ヘンリ編『講座 世界の先住民族 ファースト・ピープルズの現在 07 北米』pp. 247-263, 東京：明石書店。「社会資源としてのサケ ユーコン川上流域の先住民社会におけるサケの重要性とそれをとりまく諸問題」岸上伸啓編『海洋資源の流通と管理の人類学』pp. 41-68, 東京：明石書店。「アラスカ先住民と石油開発」岸上伸啓編『開発と先住民』pp303-330, 東京：明石書店。「アラスカ先住民社会における伝統食分配とポトラッチの社会的意義」岸上伸啓『贈与論再考 人間はなぜ他者に与えるのか』pp92-117, 京都：臨川書店
- 小川 智子
- ①准教授
  - ②相談援助の理論と方法、ソーシャルワーク実習教育
  - ③ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク実習指導、ソーシャルワーク演習
- 佐野 智子 (第一著者)
- ①准教授 (福祉総合学部福祉総合学科)
  - ②臨床心理学、聴覚心理学
  - ③臨床心理学、子どもの発達と相談、障がいを持つ子の理解と支援など
  - ④日本心理学会、日本臨床心理学会会員。著書 (分担執筆)『幼児教育と保育のための発達心理学』(建帛社, 2012)、(分担執筆)『対人関係を通しての自己理解ワークブック』(培風館, 2013)